

研究実施のお知らせ

2022年10月26日 ver.1.0

研究課題名

病理標本を用いた脳アミロイドアンギオパチーのタンパク分析

研究の対象となる方

脳神経内科で入院加療中に死去され、病理解剖同意書を得た後に剖検を行った成人の方の脳切片

研究の目的・意義

これまで、当研究室では脳アミロイドアンギオパチー（cerebral amyloid angiopathy : CAA）に沈着する amyloid β と cystatin C に着目して、臨床および基礎的検討を進めてきました。2つのタンパクは脳血管に同時に沈着することで脳血管の脆弱化を招き、高齢者の脳血管障害の原因となることが知られており、そのメカニズムを解明することは CAA 関連脳血管障害の治療や予防に結びつく可能性があります。基礎・臨床医学上重要です。CAA の有病率は年齢とともに増加し、70 歳～90 歳代になると人口の 30-50% にみられることがわかっています。

今回我々は、脳神経内科で入院加療中に死亡され、病理解剖同意書の承諾を受けた後に剖検され、保存されている脳切片を用いて、CAA の病理学的、生化学的検討を行う予定です。これにより発症メカニズムを明らかにできれば、将来治療や予防に役立つ可能性があり、患者さんに有益な結果をもたらす可能性があります。

研究の方法

対象として、剖検の得られた患者 15 例について脳切片を病理学的に CAA の有無、重症度を評価し、血管に沈着するタンパク質を分析します。既に組織は採取されているため、新たに行って頂くことはありません。

場合によっては、臨床情報と測定データを分析することより、疾患との関連性を検討することも考えられます。

本研究で得られた各種データおよび臨床データは、島根大学医学部内科学第三におけるサーバーに保存されます。このサーバー内のデータベースは外部からアクセスできず、パスワードによって使用可能な研究者を制限されています。この研究に参加された場合、診療情報や検体など、この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

この研究のデータおよび関連する資料は、研究責任者が研究終了から 10 年後ま

で保管し、その後個人を識別不可能な状態で廃棄（消去）します。

この研究のために提供された検体は、島根大学医学部内科学第三の保管庫で管理し、必要な測定が終了した後に個人を識別不可能な状態で廃棄します。

研究の期間

2023年1月5日～2025年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学第三が行います。

試料（検体）・情報の利用停止

患者様の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご家族または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、患者さんの試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院内科学第三 教授 ながい 長井 あつし 篤

連絡先：島根大学医学部内科学第三

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2198 FAX 0853-20-2194

事務局：

島根大学医学部内科学第三 高村真広

連絡先：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2198 E-mail: mtakamur@med.shimane-u.ac.jp